



産業廃棄物処理計画書

令和 元年 5月16日

島根県知事
丸山 達也 殿

提出者
住 所 島根県江津市敬川町1306番地3
株式会社 原 工 務 所
氏 名 代表取締役 原 論
電話番号 0855-53-0311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 原 工 務 所
事業場の所在地	島根県江津市敬川町1306番地3
計画期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業 ー総合工事業ー
②事業の規模	5,000万円
③従業員数	70人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事 がれき類(アスファルト・コンクリート塊) →再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ・伐開・除根、新築・改築・解体工事 発生木材 →再生処理業者に委託して、チップ・肥料として再資源化 →処理業者に委託して、最終処分場へ 混合廃棄物等 →処理業者に委託して、最終処分場へ

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 廃棄物処理に関する適正処理の推進 …… 統括責任者
- ・ 廃棄物処理方針の策定 …… 廃棄物担当者
- ・ 廃棄物処理計画の作成 } …… 廃棄物管理担当3名
- 管理状況の把握
- 監督官庁への報告
- 社員の教育、啓発
- ・ 契約書・マニフェスト管理 …… 廃棄物管理担当1名

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添1-1	別添1-1
	排出量	同上 t	同上 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事現場の廃棄物処理は、土砂等の混合物を取除き発生量の抑制・分別し、排出量を減らし処理コストを下げよう努めている。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添1-2	別添1-2
	排出量	同上 t	同上 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事現場の廃棄物処理状況の現地確認をする。 ・ 発注者との協議で出来るだけ現場内流用を検討する。 ・ 処理業者を選択し委託契約するにあたり、事前に調査したのち委託契約をする。 ・ 工事の工程にあわせ、なるべく再生利用するように努める。 ・ 委託業者との相互協力と、産業廃棄物管理伝票の管理・確認の徹底をする。 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート・アスファルト殻の積込み時、土砂の混入を取除き、分別する。木屑は、木と枝・根に分別し、根は自然乾燥させ土を取除き分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記内容を実施予定

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添1-1	別添1-1
	全処理委託量	同上 t	同上 t
	優良認定処理業者への処理委託量	同上 t	同上 t
	再生利用業者への処理委託量	同上 t	同上 t
	認定熱回収業者への処理委託量	同上 t	同上 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	同上 t	同上 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添1-2	別添1-2
	全処理委託量	同上 t	同上 t
	同上 t	同上 t	同上 t
	同上 t	同上 t	同上 t
	同上 t	同上 t	同上 t
	同上 t	同上 t	同上 t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用が可能である廃棄物は、再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

と。

- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【 前年度（平成30年度）実績 】

	がれき類	木くず	混合 廃棄物	金属くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏 ボード	ガラス 陶磁器 くず	繊維くず	建設汚泥	石綿含	廃油
産業廃棄物排出量	4,037 t	960 t	176 t	28 t	47 t	8 t	2 t	7 t	0 t	73 t	4 t	0 t
自己直接再生利用量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己熱回収量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己中間処理減量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
全処理委託量	4,037 t	960 t	176 t	28 t	47 t	8 t	2 t	7 t	0 t	4 t	20 t	0 t
優良認定処理業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者 処理委託量	4,020 t	833 t	0 t	19 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
熱回収認定業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
熱回収認定業者 以外の熱回収業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

【 今年度 (令和元年度) 目標 】

	がれき類	木くず	混合 廃棄物	金属くず	廃プラスチック	紙くず	廃石膏 ボード	ガラス 陶磁器 くず	繊維くず	建設汚泥	石綿合	廃油
産業廃棄物排出量	4,000 t	870 t	170 t	60 t	50 t	5 t	3 t	10 t	2 t	50 t	20 t	0 t
自己直接再生利用量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己熱回収量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己中間処理減量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
全処理委託量	4,000 t	870 t	170 t	60 t	50 t	5 t	3 t	10 t	2 t	10 t	20 t	0 t
優良認定処理業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者 処理委託量	3,800 t	800 t	0 t	30 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
熱回収認定業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
熱回収認定業者 以外の熱回収業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t